



# オアシス

文責：副学長  
桑原雅次

出雲芸術アカデミーだより 2018年5月29日発行 第1号

この度は、本音楽院活動を皆様に広くお伝えすべく、「たより」の発行をすることになりました。その発行に際し、たよりの標題を「オアシス」といたしました。この標題にするにあたり、出雲芸術アカデミーの本質は何であろうかと考えた時、本音楽院の「学校要覧」に見る事ができます。それは、出雲芸術アカデミー芸術監督“中井章徳”氏のあいさつ文に語られています。そのあいさつ文の抜粋を紹介します。

……略……出雲芸術アカデミーは、音楽を愛し、美しさを感じる人々が集う、出雲の街のオアシスです。感覚だけでなく、演奏の仕方。聴き方、音楽のしくみや作品の背景を理解すること、歌詞の意味を考えること、作曲家の考えに思いを馳せること……略……

このように、本音楽院の本質が語られているように受け止め、「オアシス」と命名することにいたしました。皆さまも、このたよりを通じて出雲芸術アカデミーが取り組んでいることをより詳細に知ることにより、皆様の心がいっそう通い合い、一つの音楽が完成することを念じています。

## ◎ すべては入校式から！

平成30年度（2018）が始まりました。今年度の始まりはこの入校式から始まります。新生生にとっては、出雲芸術アカデミー生としてのすべてがここから始まりました。継続された方にとっては、初心に帰る良い機会ととらえることができます。身も心も新たな気持ちでスタートでき、関係者一同が心を一つにできたことと思います。

今年度の音楽院受講者数は、総勢368名（5/22 現在）となります。〈内訳については下記をご覧ください〉

幼児科：44名（保護者44名）

本科：音楽入門19名・合唱36名・オーケストラ92名

別科：合唱61名・オペラ16名・オーケストラ43名・邦楽17名

近年は若干の減少傾向ですがほぼ横ばいの在籍者数です。しかし、出雲芸術アカデミーが発足当初は、600名を超える受講者数でしたので、約半数近くが減少したことになります。この要因については、様々な理由が挙げられると思いますが、男女共同参画に係る働き方改革等による社会生活の変化が大きく影響しているものと思われます。身近な所では部活動や学習塾との両立が困難になりつつあることも挙げられるのかも知れません。外的要因はさておき、内的（本アカデミー）には受講生が満足できる講座となれるよう常に心くばりをしていく必要性を感じています。本アカデミーの指導陣は、専門的な技術はもとより音楽全般に関する研究を



日頃から研鑽しています。各講座がさらに充実するには、受講生と指導者による信頼関係に基づいた音楽の深層をより追求していくことが重要となり、正にそのことが生涯の宝となる礎を築くことにもなります。本アカデミー受講生がワクワクしながら受講できる体制と環境づくりが本アカデミー発展のためのキーワードのような気がします。

## ◎ ライブラリー活用が音楽感を変える！

出雲芸術アカデミーには、「ライブラリー」があるのを知っていますか…？特にCDに関しては、主にクラシック音楽の1000タイトルが寄贈されたものです。その詳細については、入校式で配布された「学校要覧」に掲載されていますのでご覧ください。

このライブラリーの利用が今一つなされていないように思いますので、改めて紹介し、活用を促進していきたいと思えます。まずは環境整備からと思い、ライブラリー設置場所周辺を片づけましたので、さらなる活用を期待しています。

さて、なぜ今更ライブラリーの活用かといいますと、音楽を志す人は音楽を聴くことがいかに大切なことなのかを改めて認識してほしいからです。

私事で恐縮ですが、私とクラシック音楽（オーケストラ）の出合は、衝撃的なものでした。私が高校生の時に、指揮者カラヤン率いるベルリン・フィルハーモニーが来日したので、大阪まで出向いた時のことです。今まで聴いたこともない弦楽器のうねるような表現力、管楽器の限りなく透明度の高い響き、心臓がバクバクと高鳴り鳥肌が立ちっぱなしであったことが脳裏から離れません。特に、オーボエ・フルート・クラリネット・ファゴット・ホルンの首席奏者による競演には心が躍りっぱなし…。感動をとうに通り越していました。そこから、各奏者のLPレコード（当時はまだCDは無し）を買いあさり、昼夜を問わず聴いていたことを思い出します。このことから、クラシック音楽の奥深さにはまり、次から次へとジャンルを超えながら幅を広げていくきっかけにもなりました。そして、音楽表現や豊かな響きの理想像を思い描くことができ、音楽生活をより豊かにしてくれたことに繋がったことがとても有意義なことでした。

この度、このライブラリーの中から、ベルリン・フィルの往年の名手たちのCDを発見！少年時代に衝撃を受けた名手たちとの再会に心が躍りました。

地方都市にいる私たちにとって生演奏を聴ける機会は制限されますが、録音媒体は世の中にたくさんあり、自宅でも気軽に聴くことができます。しかし、購入するには限界があります。本アカデミーにはクラシック音楽の聴きたい音源がほぼそろっています。この環境に感謝するとともに、活用しなければならないと思うのです。一流プレーヤーの音源が、皆様の耳元に届けられるのを今か今かと待ちわびています。お気に入りの1枚を是非手に取ってみてください。クラシック音楽の神髄を知るためにも、余計な前置きや情報なしでそのものに迫ろうとする行動から始めてみてください。また、本アカデミー保護者会からCDデッキ2台を寄贈してくださいました。レッスン室前に設置しましたのでご活用ください。【このたよりは、本アカデミーホームページでも掲載します <http://izumo-zaidan.jp/tag/academy/>】

